

第6回登別市立図書館整備検討委員会 議事録要旨

- 日 時：令和7年1月16日（木）午後6時30分～午後7時50分
- 場 所：登別市市民会館 大会議室
- 出席状況：委員 14名 （欠席） 3名
行政 6名 教育部部長
教育部参与
教育部次長
教育部図書館長
教育部図書館主査
総務部企画調整グループ総括主幹
傍聴 なし （非公開）

1 開会

- (1) 本日の流れについて説明（委員長）
 - ア 前回に続きフリーディスカッションを行う。

2 事務局から説明

- (1) 会議に先立ち、先日の定例記者会見（1月6日）について説明（市長部局）
 - ア 定例記者会見において、市長のアーニス3階駐車場部分への図書館移転に関する発言については、記者とのやり取りの中で、仮に図書館が他施設に移転するとした場合の数ある可能性の一つとして例示したものに過ぎないということであり、市長部局でも検討はしていない。
 - イ 今教育委員会にて、図書館の今後の在り方について議論されているところであり、市長部局としては、その議論の推移を見守っているところである。
 - ウ 教育委員会、また図書館整備検討委員会で結論が出た後に、市長部局として、その結論を踏まえて図書館の今後について考え方を示すことになる。まずは、今まで通り議論を続けていただきたい。
- (2) 委員からの主な意見（下線部が市側の回答）
 - ア 過去の資料で、移転先のその他にアーニス、幌別東小学校、その他と3つ選択肢があったが、その他に市長の発言も含めて良いのか。アーニスでも2階と3階駐車場は全然違うものである。
→（市長部局）仮に3階駐車場を入れるということであれば、図書館整備検討委員会で議論いただければ良いのかなど。
 - イ 新聞社で決定的な書き方をしているが抗議はしたのか。市民に誤解を招く状況にある。
→（市長部局）新聞社の書き方であり抗議はしてない。
 - ウ 相手が報道機関であれば首長はその発言に慎重を期すべきであり、発言したことを報道機関の一切責任にされるのは、ちょっといかななものかと思う。また、

別の新聞では、市長はあらゆる可能性を排除しないでほしいという発言をされているが、アーニス駐車場移転を私達は議論してかまわないのか。建築法上許可なされるもので改築も可能であり、アーニスとも話が成立しているのなら議論出来ると思うが、検討する余地のある話なのか、そこをまず話さないと議論出来ないと思う。

→ (市長部局) 駐車場への移転が現実的なのか細かく精査して行った発言ではなく、数ある可能性の中の一つとして例示したものである。2階部分への移転に関してはアーニスに対しても確認しているが、3階部分に関しては全く確認していない。3階は駐車場として作られたスペースであり、移転となればかなりの改修が必要となり、そもそも天井が低く作られている。現実的に考えれば、2階を前提に考えるのがよろしいのかなと、あくまで市長部局の立場であるが考えている。

→ (教育部局) 駐車場への移転に関しては、今のところ検討する予定はない。財政的な問題が大きいので、この案は抜きにして考えた方が現実的だと思っている。これまでに提示した選択肢からまず検討いただき、他にもあるのではとなれば、その他の部分で検討の余地はあると思うが、駐車場への移転はまずは置いておいていただければと思う。

エ 会議の形態で、フリートークにする理由を明らかにしていただきたい。なぜ秘密にするのか。

→ (教育部局) 秘密にしているつもりはなく、委員だけで話す場が欲しいというような要望があったため、行政側は入らなかった。行政が入らないところを第三者に見ていただいても責任も取れないということで、今回は傍聴、報道もご遠慮いただいた。今回は出席者も少なかったため、今回の設定となった。

オ (エの回答に対して) 前回過半数越えの出席があったのに、もう一度同じ形態で議論をするのはいかがなものかと思っていた。そこを含め今日の会議の議論を進めていただきたい。

カ 前回の会議では、1名が本館維持で改修、5名が移転という意見を述べている。その他にまだ意見を述べていない方がいるので、まずその方の意見を聞いた方が良いのでは。

→ (委員長) 市長の発言をないがしろにして討議することは出来ないのでは。今日のフリーディスカッションでお話いただきたいと思う。

→ (委員) ないがしろに出来ない問題だと言っているが、それは一端置いておいて、前回欠席された方の意見をまず一通り聞いてみるのが良いのでは。

→ (市長部局) 市長に真意を確認したが、移転先としての数ある可能性の一つとして例示したに過ぎないということで、自らの発言が、もし今図書館整備検討委員会で行われている議論の妨げになるとしたら、それは全く本意ではないということであるので、この案を抜きにして議論を引き続き続けていただきたい。ただ、軽率な発言だというような委員からご指摘はありましたので、これは市長に伝えさせていただきましますけど、ぜひ引き続き静かな環境で議論を続けていただければと思う。

- キ (カの回答に対して) 定例記者会見の新聞記事により、一般市民は3階に移転という取り方をした人が結構いる。この問題をゼロにするのであれば、市で記事の書き換えを要望するか何か働きかけないといけないと思う
- (市長部局) それに関しては、記事の訂正というやり方ではなく、市議会の場や何らかの場で市長の発言の真意を説明したいと思っており、我々で責任を持って対応させていただく。
- (委員) いつになるか。
- (市長部局) 市議会と今話しているところであり、日にち等はまだ申し上げられないが、何らかのかたちで市長の発言の真意については、情報を出させていたいただきたいと思っている。
- (委員長) その辺りで了解いただけるか。今日のフリーディスカッションで、今のところを含めてお話いただければと思う。5回目、6回目とフリーディスカッションで行われたのは、私も議長として中々意見を言えないような状況があり、事務局側で意見を述べる機会もあれば良いなということで考えていただいた。
- ク 今日始まってからは議事録に残るのか。
- (教育部局) 今までの分は残す。これからフリートークになるので、前回同様、行政側は一端退出する。
- (委員) 退出しなくても良いのでは。今日、委員である専門家の方がお話されるので、是非聞いていただきたい。
- (教育部局) 皆様が残ってかまわないのであれば、そのようにさせていただく。
- (委員長) 委員の中で報道関係が嫌だという方がいると聞いたので、その意見を尊重する考え方もあったらと思うが、委員の中では今そのような声はないので、残っていただくということで。

3 フリーディスカッション (下線部が市側の回答)

- (1) 本日のフリーディスカッションについて確認 (進行: 副委員長)
- ア 事務局も参加し、議事録も残す。
- イ 前回欠席した方の意見を伺う。
- ウ 前回の内容は、事務局へ提出してる質問に答えてもらうまでは判断出来ないという方が多かった事実もある。財政的に移転しかないだろうが、移転先がアーニスに固執するわけではないという意見もあった。前回参加者の5名位が移転に止む無しで、1名が現状を直すべきとの意見であった。
- (2) 前回欠席者からの意見
- ア 移転か現状かに関しては、答えられない立場を取らせていただきたい。PTA 連合会としての意見を取りまとめたかたちでなければならぬと思うし、今日まで連合会でも集まる機会がなかった。会長の立場で意見を言っただけかまわないとは言われているが、私自身PTA連合会が公共物に意見を述べる立場ではないと思っている。図書館の存続についてなら意見を言うと思うが、図書館が維

持されるかたちに意見を言う立場ではないだろうと思う。ただ、意見する必要があるなら、各学校に意見を確認しないといけないと思う。年度内にある連合会の集まりの中で、意見を求められたらどうしようかということは話したいとは思っている。

- イ まちづくり協議会からの提言について、話の方向性が進んでないと思う。アーニス移転の駄目な理由を探すのではなく、工夫したら前に進めるような前向きな話し合いが出来ないかなと感じる。自分は移転派であるが、色々な移転があると思う。
- ウ 単に場所を移転するだけであれば、あまり良くない立場である。例えば、アーニス移転となると気軽に来ること出来て生活の中に図書館が入り込むことが出来るのではないか。その一方、主体的なものでなくなり悪影響を受ける部分もあるのではないかと感じる。やはりビジョンが欲しい。メリットはあるはずなので、もっと突き詰めてもらいたい。移転が現状維持かと単純に分けない方が良く思う。

(3) 委員からの情報

ア 荷重に関する心配をされている方がいるので、自分は建築の仕事をしているので次のとおり調べてみた。

a 建築の用途によって荷重を想定する基準が決まっている。

1 平米あたり (店舗)	2, 900 ニュートン
(図書館)	5, 900 ニュートン
(書庫)	7, 800 ニュートン
(可動書架)	11, 800 ニュートン

実際のアーニスについては、設計図書等で確認する必要があると思うが、基本的にここまで強くは作られていないと想定される。

b 他の町で商業施設に図書館を作っているところの事例は次のとおり。

- ・千葉県富津市の図書館では、商業施設の耐荷重で設計されていることから書架の高さを低く4段程度に押さえた排架を想定している。
- ・大阪の泉大津市では、一般の図書館より高さを抑えて本棚の間隔も広く設定し、積載荷重を建物の許容内に抑えるという計画をしている。

新築の図書館として計画した建物と比べると、棚を低くしたり間隔を広くしたりして密度を低くするなど配置する必要が出てくる。

c 登別の計画の1, 500平米で15万冊という計画とだいたい同じ規模の図書館で桶川市立中央図書館というのがある。ここは1, 500平米で計画されているのが11万5千冊。逆に15万冊入る図書館となると、例えば、寝屋川市立中央図書館があり、こちらは面積が2, 200平米位。現実これが絶対ではないが、広さ的に大丈夫か検証が必要だと感じた。

d 結論として、面積が新築よりは必要になり、書庫も設置が難しいのではないかと感じる。レイアウトについても、きちんと計画する必要が出てくると思う。ただ、デメリットだけではなく、広くなり本棚も低くなって、ゆとりや開放感が生まれたりとか、明るさ確保などのメリットもある。重要なのは、面積が足り

るのかの検証ではないか。

イ (アについて) 他の委員からの質問

- a この基準を満たしていないと違法になるのか。
→ (委員) 耐荷重の範囲内で設計していくということであれば、たぶん違法にはならない。
- b (aに対して) 違法にならないように設計するのか。
→ (委員) そうである。
- c 市として、アーニス移転という案が出た時に積載荷重は多少調べたのか。
→ (教育部局) 教育委員会の建築担当や総務部で耐荷重を調べている。当初の1,500平米で15万冊というのは通常の新館を想定し、集密書架や積層書架を導入予定であったが、耐荷重的に無理だという指摘があり、例えば玉野市は4段とあるが5段の書架も入れ全体に低くしていたり、通常図書館は書架と書架の間隔は1m80cm位だが、2m10cmとるなど、今ご指摘があったように広く、書架を低く、書架と書架の間隔を広くということをやっている。それを見ると、収蔵冊数が当初の見込みより少なくなる可能性がほぼ明らかであり、今後のアーニスに移転する時の検討材料になってくる。
- d アーニスに移転した場合、半分は店舗等で半分は図書館が入ることになった場合に床に掛かる負担が均一でないが、建物に負担を掛けるという心配はないのか。
→ (委員) その範囲内に収まっていれば、問題ないのかなと。
→ (副委員長) この質問に関しては、事務局も今調べている最中であると思う。とりあえず、委員の見解としてということ。

(4) その他委員からの意見

- ア 前回のフリーディスカッションで意見した内容が議事録に残っていなかったため、今回も又同じ様なことを話しているが、財政面で大変な時期であって、現状の図書館でなんとか我慢をし、将来に向けて望ましい図書館を考えていこうと意見を述べたところであるが、報道や傍聴規制があり、この委員会が閉鎖的であったと思う。現状維持は今のところ私1人の意見であるが、今までの行政や市民の動きも尊重し話し合いのベースにしていく必要があると考える。非公開ではなく議事録も残して合意形成を目指して行く必要があると思う。
→ (副委員長) フリートークに関して、議事録は作らないということが前もってお話いただいたとは思いますが、誰も議事録を取る役割は前回なかったので、ご理解いただければと思う。
→ (委員) 承知はしたが、終わってみてこれではいけないと思い意見を言っている。
→ (副委員長) 今回に関しては、事務局も残り議事録も残るということでご理解いただけるでしょうか。議事録を残さないということは、おそらく委員長と事務局の合意形成があったと推測しますが、皆さんご理解いただければと思う。報道規制に関しては分かりませんが、委員が報道を入れてほしくないという意見が事務局の方にあったのでしょうか。

→ (教育部局) 委員だけで自由に話をしたいという意見があり、それであれば事務局も他の方達も入らないで委員だけということに配慮したつもりであった。

→ (副委員長) 今後は、オープンでということに理解しているので、お願いしたい。

4 閉会 (下線部が市側の回答)

(1) 次回以降の日程について (事務局)

ア 1月30日(木)と2月20日(木)で、時間を通常の18時30分では遅いという声もあるので、18時からに変更でいかがか。

→ (委員) かまわない。

(2) 委員からの質問

ア 今年度中に、この会議は目処を付けるということはないということで良いか。

→ (教育部局) はい

イ 委員から提出した意見書の回答はいつになるか。

→ (教育部局) 次の会議で回答を提示するよう作成中であるので、少々お時間いただければと思う。

以上